

天津で考える
サマーダボスに参加して

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

約2週間前の9月13日～15日に中国へ行ってきました。中国へ行った目的は、天津で開催された国際会議に参加するためです。冬にスイスのダボスで World Economic Forum という世界経済会議が開かれますが、その会議と同じ主催団体(WEF)が、夏に中国の天津と大連で1年交替でサマーダボス、夏のダボス会議を開いております。その会議に参加してきました。今日は、そのお話をさせていただきます。

2. 天津で考える - サマーダボスに参加して -

(1)今回は、85カ国から1500名余りの方が参加し、3日間で50～60ぐらいのテーマでセッション、つまり会議がありました。今年のサマーダボス会議は、中国政府と天津市が全面協力し、約1年間をかけてありとあらゆる準備をしたようです。まず1日目には、中国政府の温家宝首相おんかほうが主催された夕食会がありました。2日目には、天津市内にあるイタリアンレストラン街をすべて借り切って、天津市長が主催された歓迎夕食会がありました。

(2)日本は、ちょうどその時に民主党党首の選挙のため政府関係者の参加はありませんでしたが、自民党の河野太郎衆議院議員、竹中平蔵さん、慶応義塾大学の清家学長、武田薬品の長谷川社長さんたちを含め、全部で50名ぐらいが参加しました。その中の1人が私でした。

(3)なぜこのような会議が開かれるかといいますと、中国や天津市への投資に感謝をして、さらな

る投資を促すためだと思われます。また、世界的な国際企業の経営者が中国に進出しているもう1つの場所は、重慶です。それらの企業のトップは、天津と大連で1年おきに開かれるサマーダボス会議に合わせて中国を訪問し、そのときに自分の会社や事業所、工場などのある上海や重慶はじめ事業拠点を訪れ、これからの中国での事業展開を考えているようです。

(4) 高速鉄道と呼ばれる日本の新幹線にあたる鉄道があり、私は、帰る際に天津駅から北京南駅までそれに乗りました。満席の状態でした。時速 328 kmで横揺れはほとんどなく、非常に乗り心地がよかったです。そして、全長 120 km余りの距離を約 30 分で結ぶことに驚き、感激しました。料金は 58 元、日本円で約 500 円でした。

(5) おそらく、中国はこの高速鉄道を世界各国に売り込むと思われます。ですから、日本の新幹線をアメリカやヨーロッパ等に売り込むことは大変なことだと思いました。

(6) では、天津市について説明します。人口は約 1000 万人です。中国には 1000 万人以上の町が 10 以上あると言われ、天津市はその中の 1 つです。

(7) 市民の生活は年々向上しています。市内には伊勢丹デパートがあり、超満員で、皆さん買い物袋を持っていました。以前、私が上海に行った時には、人はたくさんいましたが誰も買い物袋を持っておらず、皆さん見学に来ていた様子でした。しかし、今はそうではありません。中国の方も高級百貨店の伊勢丹デパートで買い物をします。

(8) 私が泊まったホテルの隣りに、アメリカのディスカウント・ストア、ウォルマートがありました。天津市内にもありましたので行ってみますと、買い物客がたくさんいました。皆さんが買い物袋を持ち、その中には物がいっぱい入っていました。

(9) 人々の服装は、日本や韓国、シンガポールと全く変わりありません。皆さんスマートで素晴らしい服装をしていました。また、マクドナルドやスターバックスは超人気、牛丼の吉野家も大人気でした。

(10) 乗り物に関しては、車もたくさん走っていましたが、一番流行っているのは軽オートバイです。また、電動自転車も大人気でした。中国の皆さんは、少しお金が貯まると電動自転車や軽オートバイを買うようです。ウォルマートで軽オートバイの値段を見ましたら、日本円で 15,000 円くらいでした。だいたい日本の 10 分の 1 くらいで買えることになります。

(11) 私は、天津市で経済力や軍事力をメキメキとつけている中国の勢いを感じました。現在は、中国の通貨である元が非常に安いです。元安ですと、中国は輸出をするときに有利です。しかし、

元安が原因で、アメリカが大変な状況にあります。アメリカの代表は、中国の元が安すぎてアメリカの失業率が上がってしまうと話し、本格的な変動相場制にするようにと意見を述べておりました。

(12)そのことに関しては、中国側は元安である現状を維持し、その間に少しでも輸出競争力をつけて国内にお金を貯め、国をもっと豊かにしようと戦略的に行っていることがよくわかりました。また、中国は経済力を背景にして、アメリカに次ぐ軍事力を毎年毎年大幅に増強しています。さらに経済活動も活発にしようとして一所懸命に頑張っているわけです。

(13)今回のテーマの一つは、グリーン・イノベーションです。世界の人口の5分の1を占める中国では、工業化、都市化がものすごいスピードで進んでおり、世界最大のCO₂排出国となっています。ですから、今や地球は中国と運命共同体だと思います。

(14)中国がGDPを8%以上成長させようと国力の増強を目指す結果、中国が原因で、地球が取り返しのつかない状態になってしまうということも言われております。ですから、これについてどのように対処すべきかも考える必要があると思います。

3. おわりに

沖縄の尖閣諸島沖で中国の漁船と衝突した事件では、いろいろなことが起こりました。我々日本人は、この件での中国政府や中国国民の行動を分析し、これから中国とどのように付き合っていくのかを冷静に考えた方がよいと思いました。

- 2011年4月27日校正 -